

年間指導計画表

教科・科目	芸術科・ビジュアルデザイン	単位数	4
		学科・学年・学級	普通科・創造表現コース 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン表現を通して創ることのよこびを知り、意欲的に制作する態度を養う。 ・日常や社会におけるデザインの役割について考え、デザイン表現についての理解を深める。 ・感性を高めて美しさを探求する態度を養い、美術やデザインを愛好する心情を育てる。
使用教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・新美術表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社) ・本校作成プリント

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	・美に対する感動や、自己の考えを主体的に表現することができる。	授業態度など	10%
b. 芸術的な感受や表現の工夫	・多様な表現形式の特性を生かし、創造的な表現を追求することができる。	制作作品など	50%
c. 創造的な表現の技能	・工夫して(意図に応じて)材料、用具を活かして表現することができる。	制作作品など	30%
d. 鑑賞の能力	・美術の働きや美術作品の美しさや特質等について自己の意見を持ち、互いに批評しあうことができる。	鑑賞態度など	10%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい				
					a	b	c	d
前期	4	10	デザイン概論	デザインの果たす役割についての理解する ・デザインの社会的役割について ・視覚的な伝達効果について(平面)	○			
	5	30	平面表現Ⅰ	アクリル絵の具を用いた表現について学ぶ ・アクリル絵の具の特性 ・材質感の表現 (用紙/B2パネル)	○		○	
	6~9	32	平面表現Ⅱ	平面表現の基本について学ぶ ・アクリルガッシュの特性と扱い方 ・モチーフの特質と描写(色彩・形体・材質) ・構成による視覚効果(リズム・バランス) ・画面構成の工夫(造形・配色) (用紙/B1パネル)	○	○	○	○
後期	10	10	デザイン概論Ⅱ	デザインの果たす役割についての理解する ・デザインの社会的役割について ・美的造形性と機能美について(立体)	○			
	11	18	立体表現Ⅰ	様々な素材を用いた表現について学ぶ ・素材の特性と扱い方 ・モチーフの特質を生かした表現	○		○	
	12~1	20	立体表現Ⅱ	立体表現にの基本について学ぶ ・造形の効果と構成の工夫 ・材料の特性とその表現効果 ・形体の性質と空間に果たす効果(リズム・バランス)			○	○
	2	20	課題別作品制作	テーマに基づいたデザイン表現の学習 ・自然、自己、社会を通じた主題設定 ・制作意図に応じた表現方法の工夫 ・表現材料や技法の活用 ・制作日程の進め方とアイデアスケッチ	○	○	○	○
【その他】								